

【図1】リフォーム後の性能組合せ 【*1】は住宅省エネ2026キャンペーン公式サイトで確認できます

リフォーム後の性能【*1】		要件化工事			補助額上限
		トリガールーム（外皮に面する開口部を有する居室）の必要工事		対象住宅の必要工事	
		1. 全ての開口部断熱（熱貫流率）	2. 躯体断熱（3部位の中から）	3. 特定エコ設備（トリガー以外可）	
		英字は性能区分	「外壁」「屋根・天井」「床* 基礎断熱含む 」	高効率給湯器or高効率エアコン	
2016年以前 新築住宅 （平成28年）	組合せ i	P（1.1以下）	不要	不要	40万円
	組合せ ii	S（1.5以下）	不要	不要	
	組合せ iv	A（1.9以下）	1部位	不要	
	組合せ vi	B（2.3以下） or C（2.9以下）	2部位	不要	
1991年以前 新築住宅 （平成3年）	組合せ i	P（1.1以下）	不要	不要	50万円
	組合せ iii	S（1.5以下）	1部位	不要	
	組合せ v	A（1.9以下）	2部位	不要	
	組合せ vii	B（2.3以下） or C（2.9以下）	3部位	不要	

（例1） 2015年11月新築 寝室の全ての窓にS性能（熱貫流率1.5以下）の内窓を設置した場合、躯体の断熱や特定エコの設置は不要
この場合は上記表の『組合せ ii』になり、その他の補助対象工事を含め補助額の上限は40万円

【図2】リフォーム後の性能がより高い組合せ

リフォーム後の性能【*1】		要件化工事			補助額上限
		トリガールーム（外皮に面する開口部を有する居室）の必要工事		対象住宅の必要工事	
		1. 全ての開口部断熱（熱貫流率）	2. 躯体断熱（3部位の中から）	3. 特定エコ設備（トリガー以外可）	
		英字は性能区分	「外壁」「屋根・天井」「床* 基礎断熱含む 」	高効率給湯器or高効率エアコン	
2016年以前 新築住宅 （平成28年）	組合せ i	P（1.1以下）	不要	必要	80万円
	組合せ ii	S（1.5以下）	不要	必要	
	組合せ iv	A（1.9以下）	1部位	必要	
	組合せ vi	B（2.3以下） or C（2.9以下）	2部位	必要	
1991年以前 新築住宅 （平成3年）	組合せ i	P（1.1以下）	不要	必要	100万円
	組合せ iii	S（1.5以下）	1部位	必要	
	組合せ v	A（1.9以下）	2部位	必要	
	組合せ vii	B（2.3以下） or C（2.9以下）	3部位	必要	

（例2） 1990年11月新築 寝室の全ての窓にS性能（熱貫流率1.5以下）の内窓を設置した場合、躯体1部位と特定エコの設置が必要
この場合は上記表の『組合せ iii』になり、その他の補助対象工事を含め補助額の上限は100万円